

11年春夏 百貨店バイヤーズ賞レディス部門賞

カテゴリー		受賞ブランド	企業名	
ベストセラー賞	ヤング・キャリア	①セオリー ②アンタイトル ③ICB ③コムサデモード ⑤23区 ⑤マッキントッシュ・フィロソフィー	リンク・セオリー・ジャパン ワールド オンワード樺山 ファイブフォックス オンワード樺山 三陽商会	
	ミッシェル・ミセス	①自由区 ②エンズウィート ③ヒロコ・ビス ④セオリー・リュクス ⑤スタイルミー ⑤センソユニコ	オンワード樺山 レナウン ヒロコ・コシノインターナショナル リンク・セオリー・ジャパン 東京スタイル マツオインターナショナル	
	特選衣料・雑貨	セリーヌ マックスマラー	セリーヌ・ジャパン・カンパニー マックスマラー・ジャパン	
	アイテム集積	パラソル、帽子 スースーブラ 扇子	オーロラ、ムーンバット ワコール 新京清堂	
	雑貨	アクセサリ	スワロフスキー ヴァンドーム青山 アッカ	スワロフスキー・ジャパン ヴァンドームヤマダ ストウ・ディオ・アッカ
		バッグ	ケイト・スペード・ニューヨーク フルラ	ケイト・スペード・ジャパン フルラ・ジャパン
靴		イング サクセスウオーク トリー・パーチ	オギツ ワコール ルック	
カムバック賞	該当なし			
プロポーズ賞	該当なし			
話題賞	タオルハンカチ 保冷材入りネックウエア	川辺、ブルーミング中西 川辺、ブルーミング中西		

11年春夏百貨店バイヤーズ賞

27ブランド・商品が受賞

11年春夏の百貨店バイヤーズ賞レディス部門の受賞ブランド・商品が決定した。全国51店（全店を統括する商品部からの回答は1店と数えた）のバイヤーからのアンケートをもとに、部門別に得票数が多かったブランド・商品を選んだ。今春夏は東日本大震災の影響で3月商戦

が苦戦したが、4月以降は持ち直し、節電の動きを背景にした新たな需要も生まれた。これを反映して、受賞ブランド・商品数は昨年の20から27に増えた。詳細は29日付に掲載

昨年と同様、価格の安さよりも素材や機能、デザイン性で価値の高さを訴求したブランドが

数多く入賞した。ヤング・キャリア部門は「セオリー」が他を圧倒した票を集めた。今春夏のヒットアイテムであるシャツとパンツを軸としたスタイリング提案を徹底したことが奏功した。ミッシェル・ミセス部門は1位の「自由区」を筆頭に、若々しく、上質な企画を強化したブランドが入賞した。

アイテム集積部門、話題賞は震災発生後の節電の動きに対応した「暑さ対策商品」が選ばれた。カムバック賞、プロポーズ賞は票が割れ、該当なしだった。